

各位

2016年9月9日

株式会社博報堂

FUTURE CATALYSTS 主催 公開型トークイベント 第2回「FC PLATZ」
死を想うテクノロジー ～あなたの描く20年後の弔い方～
開催のお知らせ

博報堂とオーストリア・リンツ市を本拠地とするメディア・アートの文化機関「アルスエレクトロニカ」による共同プロジェクト「FUTURE CATALYSTS」は、公開型トークイベント第2回「FC PLATZ」を開催することになりましたので、お知らせいたします。

第2回のテーマは「死を想うテクノロジー ～あなたの描く20年後の弔い方～」。

大切な人が亡くなった時、あなたはどのようにしますか？その人との思い出を刻む、葬儀、墓地、形見など、人は想いをカタチにこめます。

遺灰を宇宙に打ち上げる宇宙葬、インターネットで行う手軽なお墓入り、コミュニケーションロボットのお葬式。墓地不足や少子高齢化といった社会問題や、テクノロジーの発達を受けて、死者を弔い、その人を思い出す行為に変化の兆しが見られます。また、医療やバイオテクノロジーの発達、人工知能や人型ロボットの開発が進み、「死」の価値観そのものが変容する可能性もありそうです。

今回は葬式や供養といった「弔い」にまつわる行為が、近い将来どのようにアップデートされるのか、そのヒントを皆で探していきたいと思います。

<開催概要>

テーマ：「死を想うテクノロジー ～あなたの描く20年後の弔い方～」

日時： 2016年9月19日（月・祝）

時間： 17：30～20：00 予定（受付開始 17:15）

場所： 梅上山 光明寺本堂（東京メトロ日比谷線神谷町駅3番出口徒歩すぐ）

東京都港区虎ノ門3-25-1 <http://www.komyo.net/web/access.html>

主催： FUTURE CATALYSTS （博報堂×アルスエレクトロニカ）

席数： 30名程度

参加費： 無料

ゲスト（敬称略）：

- ・松本紹圭（彼岸寺住職）
- ・市原えつこ（アーティスト/妄想監督）
- ・久保明教（一橋大学大学院社会学研究科・准教授/文化人類学）
- ・福原志保（アーティスト/研究者）

<参加申し込み方法> 参加希望の方は、下記のメールアドレスにてお申し込みください。

締め切り：9月16日（金）

お申し込みメールアドレス： info@future-catalysts.com

下記の項目をご記入ください：

- ・お名前（ふりがな）
- ・会社名／学校名
- ・ご連絡先（メールアドレス／電話番号）
- ・参加ご希望人数

お申込みいただいた方には追って返信のご連絡をいたします。万が一3営業日以内に連絡がない場合は、お手数ですが再度上記アドレスにご連絡ください。なお、会場の都合により席数に限りがありますこと、あらかじめご了承ください。

今後、定期的に「FC PLATZ」を開催いたします。次回は11月末の予定です。詳細は、FUTURE CATALYSTS ウェブサイト（<http://future-catalysts.com/>）をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ： info@future-catalysts.com

報道関係者様からのお問い合わせ：博報堂 広報室 西尾・江渡（03-6441-6161）

<ご参考>

■ FC PLATZ とは

テクノロジーやサイエンスの進化は、私たち生活者の「日常体験」や「生活様式」を大きく変えようとしています。「FC PLATZ」は、「生活者」視点を軸に、新しい変化がもたらす可能性を、先駆的な活動を行っているイノベーター、アーティスト、研究者、企業内の研究開発者などの方々とともに、領域を超えた新たな触発を通して検証していきます。そして、「衣」・「食」・「住」・「働」など、日常の「生活体験」をアップデートする、新たなアイデアの創出を目指します。「アート、テクノロジー、社会」をテーマに、最先端の表現領域を追求する「アルスエレクトロニカ」の研究者も随時このイベントに参加いたします（「PLATZ」＜プラッツ＞＝ドイツ語で「広場」の意）。

■ FUTURE CATALYSTS とは

アルスエレクトロニカと博報堂による共同プロジェクト。アルスエレクトロニカは1979年以来、アート×テクノロジー×社会をテーマに未来社会を描き出す先端的な創造性をつなぐ拠点として、多様な創造性を横断することで生まれる「未来」を具体的なカタチとして社会に提案してきています。博報堂は1981年に「生活者発想」を具現化するため、博報堂生活総合研究所を設立し、以来「生活者」という社会の中の本質を観察しながら、「生活者発想」で産業と社会をつないできました。私たち「FUTURE CATALYSTS」は従来の枠組みを越え、互いの経験、専門性、創造性を活かし合い、触発しあうことで未来をつくる「創造的な問いかけ（Creative Question）」を生み出し、日本の産業、行政、地域社会の『未来』をつくる「触媒」となり、実践していくことを目指しています。

FUTURE CATALYSTS : <http://future-catalysts.com>

■ Ars Electronica（アルスエレクトロニカ）とは

オーストリア・リンツに拠点を置く、メディア・アートの世界最高峰の文化機関。毎年9月にアート・テクノロジー・社会をテーマに行われる「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」の他、未来の美術館・学校としての「アルスエレクトロニカ・センター」、メディア・アートの最先端コンペティションである「プリ・アルスエレクトロニカ」、R&D 機関である「フューチャーラボ」の4部門があり、1979年の設立以降、未来のかたちを探求し発信し続けています。

クリエイティブ・シティとして知られるリンツ市のドライビング・フォースとして世界的な先駆モデルと位置付けられています。リンツ市が2009年にEU「欧州文化首都(Cultural Capital)」に、2014年にはユネスコ「創造都市(the Creative Cities -City of Media Arts)」に選ばれたことにもアルスエレクトロニカの存在は大きく寄与しています。

Ars Electronica : <http://www.aec.at/>